

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成20年2月14日 (2008.2.14)

【公表番号】特表2007-537715(P2007-537715A)

【公表日】平成19年12月27日 (2007.12.27)

【年通号数】公開・登録公報2007-050

【出願番号】特願2006-543544(P2006-543544)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

C 1 2 N 1/15 (2006.01)

C 1 2 N 1/19 (2006.01)

C 1 2 N 1/21 (2006.01)

C 1 2 N 5/10 (2006.01)

C 0 7 K 14/195 (2006.01)

A 6 1 K 39/02 (2006.01)

A 6 1 P 31/04 (2006.01)

G 0 1 N 33/569 (2006.01)

【F I】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

C 1 2 N 1/15

C 1 2 N 1/19

C 1 2 N 1/21

C 1 2 N 5/00 A

C 0 7 K 14/195

A 6 1 K 39/02

A 6 1 P 31/04 1 7 1

G 0 1 N 33/569 F

【手続補正書】

【提出日】平成19年11月30日 (2007.11.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

配列番号 1 に記載されている配列を有する核酸と少なくとも 90 %、好ましくは 92 %、より好ましくは 94 %、さらにより好ましくは 96 % の相同性を有する、ローソニア・イントラセルラーリス (*Lawsonia intracellularis*) の 26 k D のタンパク質をコードする核酸または前記タンパク質の免疫原性断片をコードする前記核酸の一部。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の核酸を含む DNA 断片。

【請求項 3】

機能的に連結されたプロモーターの調節下にある、請求項 1 に記載の核酸または請求項 2 に記載の DNA 断片を含む組み換え DNA 分子。

【請求項 4】

請求項 1 に記載の核酸、請求項 2 に記載の DNA 断片、または請求項 3 に記載の組み換

えDNA分子を含む、生きた組み換え担体。

【請求項5】

請求項1に記載の核酸、請求項2に記載のDNA断片、請求項3に記載の組み換えDNA分子、または請求項4に記載の生きた組み換え担体を含む、宿主細胞。

【請求項6】

配列番号2に記載されているアミノ酸配列と少なくとも90%、好ましくは92%、より好ましくは94%、さらにより好ましくは96%相同であるアミノ酸配列を含むローソニア・イントラセルラーリス(*Lawsonia intracellularis*)の26kDのタンパク質または該タンパク質の免疫原性断片。

【請求項7】

ワクチンにおいて使用するための、請求項6に記載のローソニア・イントラセルラーリスのタンパク質。

【請求項8】

ローソニア・イントラセルラーリス感染を撲滅するためのワクチンを製造するための、請求項6に記載のローソニア・イントラセルラーリスのタンパク質の使用。

【請求項9】

請求項1に記載の核酸、請求項2に記載のDNA断片、請求項3に記載の組み換えDNA分子、請求項4に記載の生きた組み換え担体、請求項5に記載の宿主細胞または請求項6に記載のタンパク質と、薬学的に許容される担体とを含むことを特徴とする、ローソニア・イントラセルラーリス(*Lawsonia intracellularis*)感染を撲滅するためのワクチン。

【請求項10】

アジュバントを含むことを特徴とする、請求項9に記載のワクチン。

【請求項11】

ブタに対して病原性のあるウィルスまたは微生物に由来するさらなる抗原または前記抗原をコードする遺伝情報を含むことを特徴とする、請求項9または請求項10に記載のワクチン。

【請求項12】

ブタに対して病原性のある前記ウィルスまたは微生物が、仮性狂犬病ウィルス、ブタインフルエンザウィルス、ブタパルボウィルス、感染性胃腸炎、ロタウィルス、大腸菌(*Escherichia coli*)、ブタ丹毒菌(*Erysipelothrix rhusiopathiae*)、ボルデテラ・ブロンキセプチカ(*Bordetella bronchiseptica*)、サルモネラ・コレラスイス(*Salmonella choleraesuis*)、ヘモフィルス・パラスイス(*Haemophilus parasuis*)、パストレラ・ムルトシダ(*Pasteurella multocida*)、ストレプトコッカス・スイス(*Streptococcus suis*)、マイコプラズマ・ハイオニューモニアエ(*Mycoplasma hyopneumoniae*)、ブラチスピラ・ハイオダイセンテリエ(*Brachyspira hyodysenteriae*)およびアクチノバチラス・プレウロニューモニアエ(*Actinobacillus pleuropneumoniae*)からなる群から選択されることを特徴とする、請求項11に記載のワクチン。

【請求項13】

請求項6に記載のタンパク質に対する抗体を含むことを特徴とする、ローソニア・イントラセルラーリス(*Lawsonia intracellularis*)感染を撲滅するためのワクチン。

【請求項14】

請求項1に記載の核酸、請求項2に記載のDNA断片、請求項3に記載の組み換えDNA分子、請求項4に記載の生きた組み換え担体、請求項5に記載の宿主細胞、請求項6に記載のタンパク質、または請求項6に記載のタンパク質に対する抗体と、薬学的に許容される担体とを混合することを含む、請求項9ないし13に記載のワクチンを調製する方法

。

【請求項 15】

前記検査が請求項 6 に記載のタンパク質またはその断片を含むことを特徴とする、ローソニア・イントラセルラーリス (*Lawsonia intracellularis*) に対する抗体の検出のための診断用検査。

【請求項 16】

前記検査が請求項 6 に記載のタンパク質またはその断片に対する抗体を含むことを特徴とする、ローソニア・イントラセルラーリス (*Lawsonia intracellularis*) の抗原性材料の検出のための診断用検査。